

奈良教育大学

開学記念日特別企画

## 地域と大学を 考える フォーラム

—大学と地域社会との  
交流・連携—

広報室



奈良教育大学では、開学記念日の十一月十八日（日）、奈良市春日野町の奈良県新公会堂において、奈良教育大学開学記念日特別企画「地域と大学を考えるフォーラム－大学と地域社会との交流・連携－」を、奈良教育大学フォーラム実行委員会主催、奈良県大学連合共催、奈良県・奈良県教育委員会・奈良市・奈良市教育委員会後援で開催した。

当日は、一般市民、大学の教職員、学生ら約二二〇人が参加して、学界、経済界、マスコミ関係、行政の代表者の提言や意見交換に熱心に耳を傾けていた。

奈良教育大学では、開学記念日の十一月十八日（日）、奈良市春日野町の奈良県新公会堂において、奈良教育大学開学記念日特別企画「地域と大学を考えるフォーラム－大学と地域社会との交流・連携－」を、奈良教育大学フォーラム実行委員会主催、奈良県大学連合共催、奈良県・奈良県教育委員会後援で開催した。

### 各界からの御意見

今回のフォーラムは、奈良県大学連合の設立（平成十三年三月）を契機として、学術文化と地域振興、教育、行政、産業の発展、奈良の自然環境、生涯学習などについて、奈良における大学の役割を念頭に置いて、大学が持つ知的資産を積極的に地域と社会の発展に結びつけることをテーマとして、広く各界のみなさんのご意見をいただく機会として企画された。

コメンテーターには、財団法人大学基準協会長の大南正瑛京都橘女子大学長を、パネリストには、大学関係者として、奈良女子大学共生科学センター所長の大石正教授、滋賀県立大学人間文化学部の菅谷文則教授、経済界からは、株式会社住友生命総合研究所の前原金一取締役社長、言論界からは、奈良新聞社の甘利治夫代表取締役、地域行政の立場からは、奈良県副知事、の五氏をお招きし、そ

れぞれの立場からのご意見をいただいた。

地域の生活環境や自然環境と大学との関わり、紀伊半島における自然環境と人々の暮らし、歴史的地域としての奈良の特色である奈良文化財研究所や県立考古学研究所などの存在、それらに基づいた大学から世界に向かっての情報発信の必要性、二十一世紀の国際化社会における新たな大学像、産・官・学の連携による地域の発展につながりなど、今後の方向について多様なご意見をいただいた。

奈良教育大学主催の開学記念日特別企画フォーラムは、昨年度に引き続き今年度が二回目となり、今後とも大学行事の一つとしてテーマを絞って引き続き開催されることが計画されている。



### 奈良教育大学開学記念日とは

開学記念日（十一月十八日）は、奈良教育大学の前身の奈良県尋常師範学校が明治二十一年（一八八八年）十一月十八日に開学式を行ったことに因む。以来百十三年を経ているが、本学の起源は明治七年（一八七四年）に開設された『寧樂書院』（小学校教員伝習所）にまで遡ることができる。

大学と地域の連携に向けて、お互いに質を高め合うような大學間連携が重要であり、大学が知的ネットワークの核、新しい知識の拠点としての自覚をもつて、文化政策を地域から発信すべきであるとのまとめで締めくくられた。